

# 園芸学研究院 教員紹介

(2024 年 4 月現在)

植物生命科学講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1

園芸環境科学講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 16

食と緑の健康創成学講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 30

先端園芸工学講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 40

ランドスケープ・経済学講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 50

園芸学研究院・植物生命科学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・栽培・育種学領域

## 佐々 英徳 教授 博士(学術)

専門: 遺伝・育種学、植物育種学

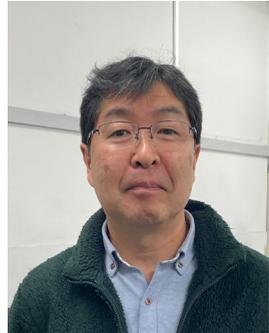
内線番号: 8967

メールアドレス:

sassa@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/hsassa>



### <主な研究内容>

- ・バラ科果樹の自家不和合性の分子機構
- ・ナス科植物の自家不和合性の分子機構

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・クコの育種、分子育種
- ・ナス科作物のゲノム編集

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

## 後藤 英司 教授 博士(農学)

専門: 植物環境工学、施設園芸学、  
バイオエンジニアリング



内線番号: 8841

メールアドレス:

goto@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/eijigoto>

### <主な研究内容>

- ・植物工場における高機能植物(野菜、薬用植物、遺伝子組換え植物)の生育制御
- ・環境ストレス付与による植物の高機能化
- ・植物工場・温室における環境制御技術の開発
- ・施設園芸における再生可能エネルギーの利用技術の開発

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・植物工場(システム、空調、照明)技術の開発
- ・バイオエンジニアリングの応用
- ・遺伝子組換え植物の産業利用の促進
- ・植物のセンシング・モデリング技術の開発
- ・施設園芸におけるゼロエミッション技術開発

### <保有している特許>

- ・特許第7130203号 植物栽培システム
- ・特許第6609147号 ネット状資材
- ・WO2019-139161 農業用防虫ネット
- ・特許第5876444号 カンゾウ属植物の薬用成分濃度向上方法

### <共同研究の例>

- ・なし

園芸学研究院・植物生命科学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・応用生命化学領域

## 華岡 光正 教授 博士(農学)

専門: 植物生理学、分子生物学、細胞生物学

内線番号: 2970

メールアドレス:

mhanaoka@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/molbio/>



### <主な研究内容>

- ・植物や光合成微生物における環境応答・情報伝達・遺伝子発現調節
- ・植物葉緑体や光合成微生物を利用した物質生産・高機能化

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・植物や光合成微生物を利用した遺伝子発現誘導系の開発
- ・植物や微生物の育種・高機能化

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

園芸学研究院・植物生命科学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・栽培・育種学領域

高橋 秀幸 特任教授 博士(農学)

専門: 植物生理学

内線番号: 8914

メールアドレス:

hideyukitakahashi@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/read0168104>



### <主な研究内容>

植物が重力に応答して形づくりや伸長方向を制御するしくみ、また、その重力応答によって影響される根の水分屈性(根が水分勾配に応答して高水分側に伸びる性質)のメカニズムを解析している。

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

・植物の根の水分屈性能を利用した節水型栽培システムの開発

### <保有している特許>

・なし

### <共同研究の例>

・なし

菊池 真司 准教授 博士(農学)

専門: 遺伝育種学、細胞遺伝学

内線番号: 8840

メールアドレス:

skikuchi@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/plantchromosome>



<主な研究内容>

- ・広範な植物種の染色体の観察と解析から、種の分類や系統関係、進化プロセスの解明を行なっている
- ・様々なゲノム解読プロジェクトにおいて、染色体解析からゲノムアセンブリの整合性を検証を行なっている
- ・染色体数の増加、加工、構築による新規作物の開発と、その染色体工学技術に関する研究を行なっている
- ・品種改良への利用に向けた、種や系統間を識別できるDNAマーカーや染色体マーカーの開発を行なっている

<産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・植物の染色体の観察
- ・染色体スケールのゲノム解読プロジェクト
- ・遠縁交雑・倍数化・染色体突然変異による品種開発
- ・動原体などの反復配列の解析
- ・海外での植物探索事業

<保有している特許>

- ・なし

<共同研究の例>

- ・なし

井川 智子 准教授 博士(農学)

専門: 植物生殖学、植物細胞工学

内線番号: 8853

メールアドレス:

tigawa@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/tigawa>



<主な研究内容>

- ・被子植物の重複受精は進化上獲得された有性生殖様式で、交雑育種にも利用される植物の能力である。しかし重複受精の仕組みはほとんど解明されていないため、当研究室で分子メカニズムの追究を行っている。
- ・受精卵からの個体発生を制御する遺伝子を利用し、任意のタイミングでの植物組織からのクローン作製や、生殖細胞の人工分化による異倍数性植物の作出を可能にするバイオテクノロジーの開発研究を行っている。

<産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・植物の遺伝子組換え
- ・植物細胞観察

<保有している特許>

- ・2000-270854: スターチスのカルス誘導方法, カルス培養増殖方法, 及び再分化植物体の作出方法
- ・2005-328780: 形質転換単子葉植物の選抜方法

<共同研究の例>

- ・植物組織培養時の効率的再分化方法に関する研究

## 土肥 博史 准教授 博士(工学)

専門: 糖質科学、有機化学、生物有機化学、  
生体材料科学、有機構造化学

内線番号: 3944

メールアドレス:

hdohi@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/bioorg/>

<https://researchmap.jp/HiroD>



### <主な研究内容>

- ・ 生理活性糖鎖の化学合成: 天然の生理活性糖鎖の機能解明を目的として、オリゴ糖や糖脂質の化学合成を行っている。また、さらなる機能発現を目的とした生理活性糖鎖ミミックの設計および合成も行っている。
- ・ 脂質を基盤とした低負荷型農薬の開発: 特定の脂質は環境負荷の低い農薬としての利用が期待されている。その中でも特に高い抗菌活性を示すヒドロキシ脂肪酸に着目し、その大量供給法の開発や高機能化を推進している。
- ・ 植物の深色化機構の解明を指向したアントシアニン類の合成: アントシアニンは特定の物質と複合化して深色化する。その詳細な機構を解明するために糖部分を改変したアントシアニン類の合成と色相評価を行っている。
- ・ 新たな糖鎖合成法の開発: 複雑な構造をもつ生理活性糖鎖の合成は煩雑であり、また望む立体を持つグリコシド結合の形成は困難を伴うため、糖鎖を迅速かつ立体選択的に合成する新しい手法の開発を遂行している。

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

生理活性糖鎖、糖脂質、脂質、構造決定、農薬、アントシアニン、生体材料、抗菌剤

### <保有している特許>

・なし

### <共同研究の例>

- ・ 糖脂質を用いたマイコプラズマ属感染症確定診断法の開発
- ・ キンマ (*Piper betle* L.) の葉由来抗酸化化合物の単離と構造決定

園芸学研究院・植物生命科学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・応用生命化学領域

## 島田 貴士 准教授 博士(理学)

専門: 植物生理学、細胞生物学、分子生物学、  
遺伝学

内線番号: 2908

メールアドレス:

tshimada@fchiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/yuzurin>



### <主な研究内容>

- ・植物の葉での脂質含量を増やす研究(シロイヌナズナから応用作物まで)
- ・植物脂質代謝制御機構の解明
- ・植物脂質を貯蔵する細胞小器官である油滴の解析

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・植物脂質の増産

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

園芸学研究院・植物生命科学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・栽培・育種学領域

南川 舞 テニュアトラック准教授  
博士(学術)

専門: 統計遺伝学、分子遺伝学、データ科学

内線番号: 8866

メールアドレス:

minamikawa@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/mfminami>



<主な研究内容>

- ・果樹を対象としたゲノム育種法の開発
- ・画像解析を用いた形質評価法の開発
- ・果実形質の遺伝的メカニズムの解明

<産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・ゲノムや画像情報を用いた果樹育種の効率化

<保有している特許>

- ・なし

<共同研究の例>

- ・果樹のゲノム育種に関する共同研究

園芸学研究院・植物生命科学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・応用生命化学領域

相馬 亜希子 講師 博士(農学)

専門: 分子生物学、生化学

内線番号: 8871

メールアドレス:

soma@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/somatrna>



### <主な研究内容>

- ・微生物の機能性RNA分子の同定とその作用機構の解明
- ・機能性RNAの多様な遺伝子構造およびプロセシング機構の解析、およびその原理とした遺伝子工学ツールの構築

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・バクテリアの遺伝子組換え
- ・微生物のRNA解析

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・微生物の形質転換・遺伝子組み換え法の構築

出口 亜由美 講師 博士(農学)

専門: 花卉園芸学

内線番号: 8810

メールアドレス:

deguchi@chiba-u.jp

ホームページ:

[https://researchmap.jp/ayumi\\_deguchi](https://researchmap.jp/ayumi_deguchi)

<https://chibakaki-matsudo.blogspot.com/>



<主な研究内容>

- ・【花色研究①】黒色やアンティーク色という珍しい花色や花の模様の形成に関わる遺伝子制御の解析および育種への応用
- ・【花色研究②】環境の変動により生じる花色変化のメカニズムの解析および安定的な栽培
- ・【病害抵抗性研究】ダリアのうどんこ病抵抗性に関わる遺伝子の探索
- ・【花型研究】ダリアをはじめとするキク科花卉の花型に関わる遺伝子制御および露芯現象(花序中心の管状花が露出する現象)の発生機構の解明
- ・【半数化倍数化研究】様々な花卉品目における半数体作成および倍数体育成

<産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・品種育成
- ・抵抗性育種
- ・高機能性作物
- ・環境変動
- ・エピジェネティク

<保有している特許>

- ・なし

<共同研究の例>

- ・なし

## 宮原 平 講師 博士(工学)

専門: 植物分子生物学、生化学

内線番号: 2972

メールアドレス:

miyahara@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/tmiyahara>



### <主な研究内容>

- 複雑なポリアシル化アントシアニンを合成することで濃青色を呈するデルフィニウムを対象に、アントシアニン修飾酵素遺伝子の単離同定から合成経路の解析を進めている。
- アントシアニンを高蓄積する紫ニンジンのフラボノイド水酸化酵素を活性改変することで、さまざまな色合いのアントシアニンを合成するニンジンの創出を目指している。
- アレルゲンタンパク質は難分解性を示すものが多いとされていることから、アレルゲンタンパク質がどのように消化酵素により分解されるのかプロテオーム解析により調査している。

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- アントシアニン
- 植物色素
- 新色開発
- 花色

### <保有している特許>

- なし

### <共同研究の例>

- 新花色品種の開発を目指したデルフィニウムのアントシアニン色素生合成に関する研究
- 新花色品種の開発を目指したスイートピーの刷毛目模様形成に関する研究

園芸学研究院・植物生命科学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・生物生産環境学領域

吉田 英生 助教 博士(農学)

専門: 植物環境工学

内線番号: 8843

メールアドレス:

yoshida.hideo@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/hideoyoshida/?lang=japanese>



### <主な研究内容>

- ・植物工場での投入エネルギーあたりの生産量を最大化させる栽培環境条件の探索を行っている。
- ・植物の機能性物質を向上可能な栽培環境の探索を行い、植物工場や温室などの生産に応用可能な技術を開発している。

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・植物工場
- ・温室農業

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

高橋 一聡 助教 博士(薬科学)

専門: 栄養化学、毒性学、分析化学

内線番号: 2973

メールアドレス:

k.takahashi@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/kazu.takahashi>



<主な研究内容>

- ・必須微量元素の生体内代謝物の解析、及び性質評価
- ・必須微量元素の代謝に関わる腸内細菌叢の影響評価

<産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・必須微量元素の栄養性評価
- ・必須微量元素の解析方法の開発

<保有している特許>

- ・なし

<共同研究の例>

- ・なし

園芸学研究院・植物生命科学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・栽培・育種学領域

## 近藤 悠 特任助教 博士(農学)

専門:園芸学, 育種学, 植物生殖遺伝学

内線番号:8879

メールアドレス:

kondoh@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://www.space-chiba-u.jp/>



### <主な研究内容>

- ・植物の人為的倍数体化による育種ならびに倍数体の表現型の解析
- ・植物の自然倍数体化機構の解明
- ・種間雑種ならびに倍数体における生殖過程の解析

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・種子や培養組織を用いた倍数体誘導

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

## 宍戸 雅宏 教授 学術博士

専門:植物病理学、土壌微生物学

内線番号:8824

メールアドレス:

shishido@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

[https://researchmap.jp/SHISHIDO\\_Masahiro](https://researchmap.jp/SHISHIDO_Masahiro)



### <主な研究内容>

・土壌還元消毒法の作用機構の解明:米糠やエタノールを用いた土壌還元消毒法は、多くの植物病原体に効果を示す我が国発祥の環境保全型の土壌消毒技術である。しかし、各植物病原微生物に対する消毒メカニズムについては不明であるため、その解明を目指す。

・ウリ科植物黒点根腐病の発生生態の解明:本病の病原菌である*Monosporascus cannonballus* による感染と発病における生態を解明し、防除戦略を構築する。

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

土壌病害 環境保全型農業 土壌病原菌の発生生態 ウリ科植物黒点根腐病菌 ウリ科植物木モプシス根腐病菌 白紋羽病菌 連作障害

### <保有している特許>

・なし

### <共同研究の例>

・昭和産業(株)との共同研究:土壌還元消毒法は、近年、SDGsを支持する土壌消毒法の一つとして注目され、世界各地で社会実装されつつある。しかし、果樹園等で栽培植物の根域が大きい場合には、その消毒効果の深度が問題となる。そこで、本研究では生産ナシ園にける白紋羽病菌を対象に、土壌還元消毒法の効果を3種類の有機物(低濃度エタノール、糖質珪藻土、小麦ふすま)を用いて深度別に調査し、ナシ白紋羽病菌に対する土壌還元消毒法の適用性を判定した。

・葉県農林総合研究センターとの共同研究:ニホンナシ白紋羽病に対する生物的防除法の研究ニホンナシの産地では、近年、老木の改植が進められているが、白紋羽病による若木の枯死が頻発しており、その対策として非病原性白紋羽病菌資材を土壌に混和することにより、土着の拮抗菌を増強し、白紋羽病の発病を抑制する方法が開発された。そこで、共同研究として、柏の葉農場内のナシ園に発生している白紋羽病を供試し、非病原性菌資材の効果について試験・検討した。

## 野村 昌史 教授 農学博士

専門: 応用昆虫学 分子進化学



内線番号: 8828

メールアドレス:

nomuram@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://www.insects-of-tojo.com/insect/>

<https://www.insects-of-tojo.com>

### <主な研究内容>

- ・天敵生物や光などを用いた「環境に優しい害虫管理」に関する研究
- ・ミトコンドリアDNAおよび核DNAの塩基配列情報を用いた昆虫の分子系統解析を害虫および天敵昆虫等の生活史や休眠に関する研究
- ・共生微生物 *Wolbachia* と宿主昆虫との関係に関する研究
- ・施設園芸における有用昆虫の利用と害虫管理
- ・工場等内に侵入する昆虫の侵入阻止や管理技術

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・施設園芸等における環境に優しい害虫管理に関するテーマ

### <保有している特許>

- ・特許第5930516号

植物の照明栽培方法、防虫用照明装置、および防虫用照明システム

### <共同研究の例>

- ・アリスタライフサイエンス(株)、(株)ハンモ: 植物工場内での有用昆虫活用に関する研究
- ・広島県、兵庫県、シャープ(株): キクのエコ生産を実現するLEDを用いた防蛾照明栽培技術の開発
- ・千葉県、アグリ総研(株): 環境に優しい在来天敵オオメカメムシ類を用いた園芸害虫防除に関する研究

## 坂本 一憲 教授 農学博士

専門: 植物栄養学、植物微生物学、土壌微生物学

内線番号: 8819

メールアドレス:

ksakamoto@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://sites.google.com/site/plantnlab/>



### <主な研究内容>

- ・ダイズと微生物(根粒菌・菌根菌)の共生関係に關与する宿主遺伝子の解明
- ・菌根菌を用いた作物の重金属耐性の強化
- ・植物の生育を促進する糸状菌エンドファイトの機能解明
- ・植物共生微生物を利用した作物生産の向上
- ・植物共生微生物を利用した作物の環境ストレス耐性の向上

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

・なし

### <保有している特許>

・なし

### <共同研究の例>

- ・緑肥作物の導入における菌根菌の役割解明(千葉県との共同研究)

園芸学研究院・園芸環境科学講座

園芸学研究所・園芸科学コース・応用生命化学領域

## 天知 誠吾 教授 博士(農学)

専門: 応用微生物学、環境微生物学

内線番号: 8867

メールアドレス:

amachi@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/seigoamachi>



### <主な研究内容>

- ・ヨウ素の酸化還元・化学形態変化に寄与する微生物に関する研究
- ・ヒ素・アンチモンの還元微生物とその応用に関する研究
- ・嫌気性微生物を利用した新たな土壌消毒法の開発
- ・発酵食品や醸造酒中の乳酸菌や酵母に関する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・土壌消毒、バイオレメディエーション、乳酸菌 酵母、菌相解析、微生物の分離培養

### <保有している特許>

- ・土壌消毒剤および土壌消毒方法(特願2022-171835)

### <共同研究の例>

- ・微生物酵素を用いた色素脱色について
- ・キムチの過発酵防止について

園芸学研究院・園芸環境科学講座

園芸学研究所・ランドスケープ学コース・環境造園計画学領域

## 古谷 勝則 教授 学術博士

専門：風景計画学、造園計画学、環境科学、エコツーリズム

内線番号：8884

メールアドレス：

k.furuya@faculty.chiba-u.jp

ホームページ：

<https://fuukei.wordpress.com/landscape-planning-furuya-seminar/>



### <主な研究内容>

- ・市民「風景と緑地」「文化と歴史」をキーワードに研究を進めております。風景（緑地）が現在の形で成立するには大自然と人々の文化と歴史が関わっていて、それらを含めて市民が中心となり風景を保全活用していく方策を計画しております。
- ・専門は風景計画、文系理系の区分に捉われず、分野横断的な知識と視野で課題を捉え、多様な技術や情報を使いこなし、課題を解決する学生を育てています。

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・市民へのアンケート調査

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

## 百原 新 教授 理学博士

専門: 植生史学, 古植物学, 植物生態学

内線番号: 8900

メールアドレス:

[arata@faculty.chiba-u.jp](mailto:arata@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ:

<https://researchmap.jp/momohara>

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/seitai/member/momohara.html>



### <主な研究内容>

- ・第四紀の気候変動と植生の変遷史に関する研究
- ・旧石器時代以降の人と植物の関わりに関する研究
- ・湿地・湿原の発達史と保全に関する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・地域の自然の歴史を反映した植栽の提案
- ・史跡公園・博物館の植栽の提案
- ・湿原, 湿地, 水域の自然再生

### <保有している特許>

- ・特許第4463754号(水草の種子の発芽処理方法および植付け方法. 大成建設・千葉大学共同特許)

### <共同研究の例>

- ・なし

## 柳井 重人 教授 博士(農学)

専門:ランドスケープ学、環境造園管理学、  
緑地環境マネジメント学

内線番号: 8897

メールアドレス:

yanai@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

[https://researchmap.jp/shigeto\\_yanai](https://researchmap.jp/shigeto_yanai)



### <主な研究内容>

- ・パートナーシップによる管理放棄地(放棄樹林地, 耕作放棄地, 空き地)のパブリックオープンスペースとしての再生に関する研究
- ・都市公園や子どもの遊び場の利用促進とリノベーション(機能更新・再編)に関する研究
- ・企業緑地(工業系・業務商業系)のマネジメントシステムの構築に関する研究
- ・食と緑の活動による生活環境の快適性の向上とコミュニティ形成に関する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・公園緑地計画、パークマネジメント。都市緑地保全活動。企業緑地。子どもの遊び。コミュニティガーデン、地域の自然の歴史を反映した植栽の提案

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・都市緑地を活用した緑の市民活動の拠点形成に関する研究
- ・市街地縁辺部の管理放棄地のパブリックオープンスペースとしての再生に関する研究
- ・企業緑地のパブリックオープンスペースとしてのマネジメントに関する研究
- ・子どもの遊び環境の形成に関する研究

高橋 輝昌 教授 博士(農学)

専門: 緑化学 造園学 生態系生態学

内線番号: 8890

メールアドレス:

teru@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/takahashi-terumasa>



<主な研究内容>

- ・緑地の炭素固定機能に関する研究
- ・緑地管理で発生する植物廃材の活用に関する研究
- ・緑地の物質循環特性に関する研究
- ・有用樹クロモジの栽培方法と活用に関する研究

<産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・炭素固定、土壌改良。植物廃材の活用、クロモジ

<保有している特許>

- ・自然評価方法および自然評価プログラム(特許第6156788号)

<共同研究の例>

- ・芝生地の土壌炭素蓄積量の測定
- ・壁面緑化における炭素固定量の測定

園芸学研究院・園芸環境科学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・栽培育種学領域

## 國分 尚 准教授 農学博士

専門: 花卉園芸学、分子系統学

内線番号: 8844

メールアドレス:

hkokubun@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/hkokubun1965>

### <主な研究内容>

- ・フロックス属(ハナシノブ科)の栽培品種の花色に関する研究
- ・フロックス属の自家不和合性に関する研究
- ・植物園管理・植物分類データベースの開発
- ・フロックス属の栽培品種の花色に関する研究(育種、色素分析)
- ・植物園管理・植物分類データベースの開発(SQLデータベース、フロントエンド、ウェブアプリケーション)

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・なし

### <保有している特許>

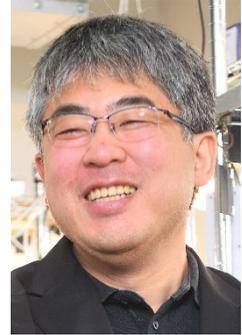
- ・なし

### <共同研究の例>

- ・リアルタイム植物園コレクション管理データベースの構築(沖縄美ら島財団)

## 宇佐見 俊行 准教授 博士(農学)

専門: 植物病理学, 微生物学, 菌学, 土壤微生物学



内線番号: 8825

メールアドレス:

usami@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/patholog/usami/usami.htm>

### <主な研究内容>

- ・病害防除法を確立するための基礎情報として、植物病原菌の生態や病原性メカニズムを解明する研究
- ・新規植物病害の病原体を同定し、その生態や性状を明らかにする研究。
- ・植物と微生物(病原菌)の相互作用を明らかにし、植物病害防除に活用する研究
- ・植物の品種や環境条件と植物病害の関係を調査する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・植物病害診断、植物病害防除、抵抗性品種、耐病性品種

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・育成中の品種における病害抵抗性評価
- ・農業現場に発生した新規病害における病原菌の特性解明
- ・養液栽培で発生した病害の性状解明と防除法の確立

園芸学研究院・園芸環境科学講座

園芸学研究所・園芸科学コース・生物生産環境学領域

## 長 泰行 准教授 理学博士

専門:行動生態学

内線番号:8827

メールアドレス:

choh@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/choh>



### <主な研究内容>

- ・カブリダニによる卵の保護に関する研究
- ・カブリダニ種間で生じる托卵に関する研究
- ・カブリダニの共食いに関する研究
- ・カブリダニのギルド内捕食に関する研究
- ・カブリダニの血縁認識に関する研究
- ・カブリダニ種間の捕食者と被食者の役割に関する研究
- ・カブリダニの協同行動に関する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・天敵を用いた害虫防除(生物的防除)

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

## 八島 未和 准教授 博士(農学)

専門: 土壌学・土壌生化学・物質循環

内線番号: 8817

メールアドレス:

matsushima@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/soil/>



### <主な研究内容>

#### ・都市緑地に炭素を貯める！学問の垣根を超えた温暖化に対する取り組み

都市緑地の管理で発生する植物性の廃棄物(剪定枝・雑草ごみなど)を捨てずにチップ材・炭化物・堆肥などに変化させ、緑地や農地で使用すれば、『炭素貯留』につながり、大気中の二酸化炭素の濃度上昇抑制効果がうまれるはず。本プロジェクトでは、チップ・炭・堆肥の使用による炭素貯留量の評価、土壌理化学的や土壌微生物への影響調査、さらに炭素貯留による付加価値の探索を行います。また、市民の皆さんと最新知見を共有し、松戸キャンパスを通して、炭素貯留による温暖化防止策を広く伝えることを目的にしています。

#### ・福島県内除染後農耕地の土壌改良

除染後土壌では放射線汚染の問題は解決しているものの、除染前の土壌と比べると肥沃度が格段に低下している現状があります。当研究室では、川俣町山木屋地区や飯舘村において、農耕地土壌の土壌改良に関する知見を得るため、緑肥や堆肥、もみ殻燻炭などを用いた試験を行っています。

#### ・屋上緑化に適する土壌とは？

緑地が少ない都市部において、屋上緑化はヒートアイランドや雨水氾濫の防止に働く貴重なみどりです。屋上緑化面積は増加するものの、いったいどのような土壌がどのように屋上緑化に適しているのか、物質循環や微生物の種類など、学術的情報は不足しています。国際学術研究院の永瀬彩子先生と共同で研究を進めます。

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

・生分解性マルチの土壌中での分解、将来の水田土壌肥沃度、千葉県内の土壌展示など、有機農業・環境保全的農業の技術、物質循環に配慮した都市緑地のあり方や人々の生活、環境微生物と人々のくらし

### <保有している特許>

・なし

### <共同研究の例>

・なし

園芸学研究院・園芸環境科学講座

園芸学研究科・ランドスケープ学コース・緑地環境資源学領域

## 渡辺 洋一 助教 博士(農学)

専門: 生物多様性・進化生態・森林科学・ツツジ属

内線番号: 8899

メールアドレス:

yoichiw@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://ashitaka3776.wixsite.com/home>



### <主な研究内容>

- ・生物多様性(種多様性)の実態解明
- ・ツツジ・シャクナゲ類の種分化・利用・保全に関する研究
- ・野生植物の進化過程の解明

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・希少植物種の保全遺伝学的な視点からの研究
- ・野生植物の利用に関する研究

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

園芸学研究院・園芸環境科学講座

園芸学研究科・ランドスケープ学コース・環境造園管理学領域

## 近江 慶光 助教 博士(学術)

専門: 造園学、環境植栽学、造園植栽管理学

内線番号: 8937

メールアドレス:

y-omi@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

[https://www.h.chiba-u.jp/academics/staff/omi\\_y.html](https://www.h.chiba-u.jp/academics/staff/omi_y.html)



### <主な研究内容>

- ・住居系市街地における高木保全に関する研究
- ・民有地の緑化推進に関する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・市民協働による公園緑地の管理に関する研究
- ・街路樹の再生に関する研究

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・ウェルネススマートシティ実現に向けた統合アプリ開発等に関する調査研究
- ・人と自然が共生する生活環境の実現に向けた調査研究委託

## 江頭 祐嘉合 教授 博士(農学)

専門: 食品栄養学, 食物繊維, 抗炎症, 脂質代謝改善、アミノ酸代謝

内線番号: 8861

メールアドレス:

[egashira@faculty.chiba-u.jp](mailto:egashira@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ:

<https://researchmap.jp/y-egashira-food>



### <主な研究内容>

- ・食品成分の生体防御機能に関する研究(穀類由来の食物繊維、アミノ酸、ペプチドの抗炎症作用とそのメカニズムに関する研究)
- ・食品成分(ファイトケミカル)によるトリプトファン代謝鍵酵素の遺伝子発現調節機構および生理的役割に関する基礎的研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・未利用資源を活用した機能性食品の開発(梨枝、大豆外皮、穀類外皮、ビワ葉)
- ・脳内環境を保護する食品の探索とメカニズム(細胞実験、動物実験)
- ・腸内細菌を介した食物繊維・オリゴ糖の機能とメカニズム(抗肥満、抗炎症作用、動物実験、細胞実験)・脂肪肝の評価(細胞実験・動物実験)

### <保有している特許>

- ・食品の脂質改善(特許5765701)、食品の肝炎抑制(特許6534183)
- ・食品の筋肉燃焼(特許6206983)

### <共同研究の例>

- ・エリンギ由来食物繊維による腸内環境改善とコレステロール代謝改善作用に関する研究(ホクト(株))
- ・免疫細胞における小麦由来ペプチドの抗炎症作用に関する研究(日清ファルマ(株))
- ・米糠由来食物繊維分解物の肝機能改善に関する研究(大和薬品(株))

園芸学研究院・食と緑の健康創成学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・食料資源経済学領域

## 吉田 行郷 教授 農学博士

専門: 農業経済学

内線番号: 8916

メールアドレス:

yukisato@chiba-u.jp

ホームページ:

[https://www.h.chiba-u.jp/academics/staff/post\\_13.html](https://www.h.chiba-u.jp/academics/staff/post_13.html)



### <主な研究内容>

- ・農福連携(農業サイドと福祉サイドが連携して農業分野で障害者の就労の場、居場所を作る取組)に関する研究
- ・国産小麦・大麦の需給、マーケティングに関する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・認知症高齢者や統合失調症等の精神障害者、発達障害者に対する農福連携の進め方を明らかにする研究(認知症、統合失調症、発達障害)
- ・βグルカン含有し、機能性食品としても期待される大麦・大麦使用製品を対象に、機能性食品の需要拡大に必要な情報提供のあり方、品種開発の方向性に関する研究(βグルカン、機能性食品)

### <保有している特許>

### <共同研究の例>

- ・農福連携の地図情報を活用した可視化に関する研究(農研機構、兵庫県立大学等)
- ・日本農業の海外展開とその効用構造に関する研究(高崎健康福祉大学、東京農業大学等)
- ・都市・都市近郊における農業の役割に関する研究(東京都健康長寿医療センター研究所等)



## 櫻井 清一 教授 博士(学術)

専門: 農業経済学、農村社会学、  
農産物流通論

内線番号: 8933

メールアドレス:

[sakurai@faculty.chiba-u.jp](mailto:sakurai@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ:

<https://researchmap.jp/jn1dee>

### <主な研究内容>

- ・農産物流通・マーケティング: 主に青果物を対象とし、生産者段階のマーケティングを中心に研究
- ・農協共販、卸売市場流通に加え、農産物直売所についても30年以上研究
- ・農村における社会関係資本(ソーシャル・キャピタル)に関する研究: 農村住民の社会集団への参画状況と、それが地域の農業および関連産業に及ぼしうる影響分析
- ・農業部門の経営多角化と他産業との連携: いわゆる6次産業化と農商工連携について、その持続性に配慮しながら研究
- ・農業・農村をめぐる生活の質(QOL): 農業労働の特性に配慮しながら、生産と生活のバランスについて研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・農産物直売所
- ・農商工連携
- ・6次産業化

### <保有している特許>

### <共同研究の例>

科学研究費による共同研究(主な共同研究先: 農研機構、奈良女子大学、東京農業大学)

園芸学研究院・食と緑の健康創成学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・食料資源経済学領域

## 丸山 敦史 教授 博士(学術)

専門: 農業経済学、応用計量経済学

内線番号: 8928

メールアドレス:

[a.maruyama@faculty.chiba-u.jp](mailto:a.maruyama@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ:

<https://researchmap.jp/read0052348?lang=ja>



### <主な研究内容>

- ・主に途上国において持続的かつ効率的な農業生産に必要な社会経済的要因の抽出や、気候変動や自然災害に対して社会的に脆弱な地域や農家の特定に関わる研究。
- ・農村資源の有する多面的機能の経済学的価値の評価、個々人のリスク選考と意思決定、その他、農産物のマーケティングに関わる消費者分析

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・農家調査
- ・農村開発
- ・環境価値評価
- ・データ解析

### <保有している特許>

### <共同研究の例>

園芸学研究院・食と緑の健康創成学講座

園芸学研究所・ランドスケープ学コース・環境造園計画学領域

## 齋藤 雪彦 教授 博士(工学)

専門: 都市計画、農村計画、まちづくり

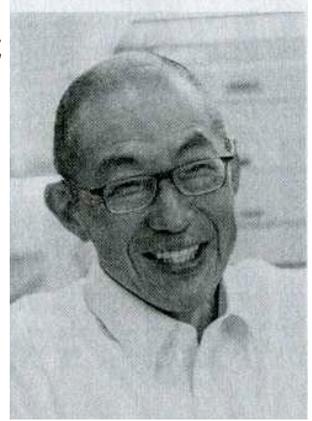
内線番号: 8971

メールアドレス:

[ysait8971arch@faculty.chiba-u.jp](mailto:ysait8971arch@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ:

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/town/chiiki.saitolab.html>



### <主な研究内容>

- ・グリーンツーリズム
- ・移住・定住・関係人口
- ・空きや管理
- ・集落空間管理

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・まちづくり、土地利用、地方創生、移住・定住、関係人口、農村観光

### <保有している特許>

### <共同研究の例>

- ・千葉県勝浦市における地方創生関連事業の政策立案、まちづくり支援(勝浦市)
- ・千葉県君津市貞元地区におけるまちづくり支援(君津市)
- ・岩手県大船渡市における復興計画策定、復興まちづくり支援(岩手県)
- ・福島県下郷町大内地区における農地再生プロジェクト(福島県)
- ・水辺空間の持つ教育的機能に関する研究(農研機構・農村工学研究所)

## 小川 幸春 教授 博士(農学)

専門: 農産食品工学

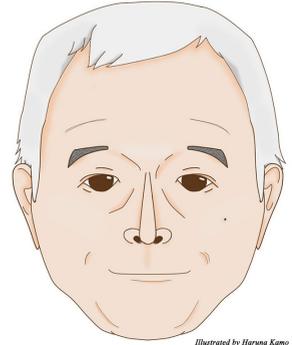
内線番号: 8848

メールアドレス:

[ogwy@faculty.chiba-u.jp](mailto:ogwy@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ:

<https://researchmap.jp/ogwy>



Illustrated by Haruna Kano

### <主な研究内容>

- ・食品の健康機能性評価
- ・青果物の保蔵性評価
- ・模擬消化試験による食品の消化性評価
- ・植物性模造肉の開発

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・食品の物性・理化学特性評価
- ・食品の健康機能性評価
- ・植物組織の構造観察・特性評価
- ・植物性食品素材の加工適性評価

### <保有している特許>

植物栽培担体(特許第5794673号), 青果物の保存方法(特許第6011780号),  
カット野菜の保存方法(特願2021-077453号),  
難消化性米の製造方法(特願2021-170635号)

### <共同研究の例>

- ・遠赤外線等放射乾燥時における穀粒内の物質移動に関する研究(農研機構, 2012年度)
- ・カット野菜の保蔵性延長に関する研究(株式会社ゼンショーホールディングス, 2016~2017)
- ・D+7サラダの開発に関する研究(三菱ケミカル株式会社, 2018~2019)

## 岩崎 寛 教授 博士(農学)

専門: 園芸療法、環境健康、病院緑化、  
森林セラピー、地域ケア

内線番号: 8969

メールアドレス:

[iway@faculty.chiba-u.jp](mailto:iway@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ:

<https://researchmap.jp/iwayuta>



### <主な研究内容>

- ・園芸療法プログラムの構築とその実践、評価
- ・医療福祉施設の緑化－患者および職員の健康にも配慮した緑化空間の提案と検証
- ・緑を活用した地域ケアの取り組み－緑を活用した社会的健康効果の検証
- ・植物との関わりによる生理、心理的効果の検証－緑の健康効果の検証

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・園芸療法を活用した勤務者のストレスケアプログラムの提案と検証
- ・公園緑地における園芸療法の発想を取り入れた地域ケアの提案
- ・高齢者の認知症予防やリハビリテーションを目的とした園芸プログラムの実践と検証
- ・緑を活用した被災者支援および防災公園の利活用など災害対策に関する研究
- ・グリーンインフラにおける健康効果の検証と提案

### <保有している特許>

- ・緑地評価装置、緑地評価方法および緑地(特許5861857号)

### <共同研究の例>

- ・緑化オフィス空間設計手法に関する研究(竹中工務店技術研究所)
- ・国営昭和記念公園における屋外リモートワーク実証実験(都市緑化機構)
- ・フリーアドレスオフィスにおける植物設置の効果検証(株式会社ディップ)
- ・ウレタン樹脂混入基盤上の芝生の心理的効果に関する研究(アップコン株式会社)

園芸学研究院・食と緑の健康創成学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・栽培・育種学領域

## 浄閑 正史 准教授 博士(応用生命)

専門: 蔬菜園芸学, 施設園芸学

内線番号: 8807

メールアドレス:

[johkan@faculty.chiba-u.jp](mailto:johkan@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ:

<https://researchmap.jp/chiba-johkan-21>



### <主な研究内容>

- ・人工光型植物工場での栽培や輸出に適したイチゴ品種の育成
- ・人工光型植物工場での高効率タンパク質生産法の開発
- ・機能性成分の生産量を高める環境制御技術の研究
- ・トマトの葉で発生する生理障害の発生メカニズム解明

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・イチゴの輸出を可能とする革新的貯蔵法の開発
- ・資源循環型植物工場の研究
- ・有機農業を安定化させる栽培支援ツールの開発

### <保有している特許>

- ・リーフレタスの栽培方法及び栽培施設(特開2012-055202)
- ・育苗方法及び育苗施設(特開2013-066394)
- ・葉菜類の栽培方法(特開2013-066394)

### <共同研究の例>

- ・循環型養液栽培でのイチゴ栽培の研究
- ・閉鎖環境下でのマメ科植物の栽培方法,  
特にエダマメ(ダイズ)の閉鎖花発生メカニズムの解明
- ・機能性野菜の栽培方法についての研究

園芸学研究院・食と緑の健康創成学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・応用生命化学領域

## 平井 静 准教授 博士(農学)

専門:食品機能学、食品栄養学

内線番号:8859

メールアドレス:

shizuka@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/foodnutr/>, <https://researchmap.jp/read0114368>



### <主な研究内容>

- ・胎生期低栄養に起因する肥満・メタボリックシンドロームの発症メカニズムに関する研究
- ・肥満・メタボリックシンドロームの予防に有効な食品成分に関する研究
- ・骨粗鬆症予防に有効な食品成分に関する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・肥満・メタボリックシンドローム
- ・骨粗鬆症
- ・妊娠期栄養
- ・腸内細菌叢
- ・食品成分
- ・マウス
- ・哺乳類由来細胞培養

### <保有している特許>

- ・トマト抽出物を含有する生活習慣病改善剤(特許5728726)
- ・エンサイ由来肝炎抑制組成物(特許5765701)

### <共同研究の例>

- ・ポリフェノール高含有落花生種皮の機能性を活かした商品開発(株式会社やます)
- ・マスタードオイル摂取による肥満および骨粗鬆症の同時予防効果(キューピー株式会社)

## 大川 克哉 講師 博士(農学)

専門: 果樹園芸学

内線番号: 8835

メールアドレス:

ohkawak@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/read0191968>



### <主な研究内容>

- ・果樹における養液栽培, 根域制限栽培等によるシステムの果実生産技術に関する研究
- ・果樹施設栽培における環境制御技術に関する研究
- ・果樹における生理活性物質の利用に関する研究
- ・果樹における果実の生理障害発生の要因解明と発生防止に関する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・果樹の養液栽培
- ・果樹(その他木本性植物)苗生産
- ・果樹の施設園芸
- ・生理活性物質の園芸的利用
- ・果実生理障害

### <保有している特許>

### <共同研究の例>

- ・ブルーベリー苗木の効率的生産に関する研究(株式会社日世)
- ・ニホンナシ摘花剤の開発(丸尾カルシウム株式会社)
- ・イチジクの養液栽培技術の開発(市原市)

園芸学研究院・先端園芸工学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・生物生産環境学領域

## 松岡 延浩 教授 農学博士

専門: 農業気象学, 自然災害科学, 農村農村工学

内線番号: 8903

メールアドレス:

matsuoka@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/gmet/>



### <主な研究内容>

- ・乾燥地における灌漑排水
- ・ダスト(砂塵)の発生機構の解明
- ・作物情報のセンシング

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・乾燥地における農作業形態の最適化
- ・ダスト発生の予測と防除

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・エジプト西部砂漠のオアシス社会における住民の理解と参画を軸とした水・土地資源の持続的利用モデルの構築(SATREPS)
- ・サツマイモ栽培のスマート化に関する研究(JA全農ちば, 千葉県)
- ・砂漠化ハザード監視パッケージに用いるリモートセンシング土壌表面サブモデルの開発(鳥取大学, 信州大学, 長崎大学)

園芸学研究院・先端園芸工学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・応用生命化学領域

## 児玉 浩明 教授 理学博士

専門: 植物分子生物学、微生物学

内線番号: 3942

メールアドレス:

kodama@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://xs214644.xsrv.jp/biochem/>



### <主な研究内容>

- ・短鎖RNAを介した植物における転写後発現抑制機構の研究
- ・好熱菌発酵産物の機能性解析
- ・遺伝子組換え食品の安全性評価

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・遺伝子組換え食品の安全性評価

### <保有している特許>

- ・特許第5578375号「好熱性微生物を用いた混合物、溶解液、及び医薬品」
- ・特許第6057046号「土壌・水質汚染の改善、温暖化ガス発生抑制、並びに植物の機能性を向上させる微生物資材の製造方法」
- ・特許第7118344号「筋肉改質剤」
- ・特許第6557876号「プロバイオティクス、あるいはプレバイオティクス、並びにその製造方法、微生物製剤、健康食品並びに医薬品」

### <共同研究の例>

- ・堆肥の機能性研究
- ・プロバイオティクスの研究

園芸学研究院・先端園芸工学講座

園芸学研究科・ランドスケープ学コース・緑地環境システム学領域

## 梅木 清 教授 博士(理学)

専門: 森林生態学

内線番号: 8960

メールアドレス:

umeki@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/kiyoshiumeki>



### <主な研究内容>

- ・シカ採食圧下における森林の動態
- ・森林生態系内の生物間相互作用
- ・森林群集の生物多様性
- ・気候変動下における森林の動態

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・ベイズ統計モデリング

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・漆採取量のモデル化
- ・キュウリ果実成長のモデル化

## 中野 明正 教授 農学博士

専門: 蔬菜園芸学、施設栽培学、循環資源学、  
品質制御学、根学



内線番号: 8115

メールアドレス:

anakano@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/888a>,

[https://www.cn.chiba-u.jp/researcher/nakano\\_akimasa/](https://www.cn.chiba-u.jp/researcher/nakano_akimasa/)

### <主な研究内容>

- ・トマト、イチゴ、キュウリ、パプリカなど果菜類、レタス、ホウレンソウ、コマツナなどの葉菜類の地上部および地下部の環境制御による高品質多収栽培に関する研究
- ・園芸作物全般における根の形態および生理機能に関する研究とその制御および実用技術への展開と、それらを生産現場に活用できるシステムに構築するための研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・野菜生産の効率化を達成するための適切な施肥設計とその分析技術
- ・資源に含まれる物質の動態評価を可能にする無機および安定同位体比の分析およびその評価技術

### <保有している特許>

- ・特許第7079438号「育苗資材、育苗用具、育苗ユニット及び苗の生産方法」
- ・特許第6569956号「農業支援システム及び農業支援方法」
- ・特許第5652756号「着果処理装置」

### <共同研究の例>

- ・農林水産省 スマート農業技術の開発・実証プロジェクト「房どりミニトマトを核としたポストコロナ型生産流通体系の実証」(令和3年～4年)
- ・「閉鎖型生物残渣高速液化技術と環境浄化型養液栽培技術の確立」(令和2年～令和4年)

## 彦坂 晶子 准教授 博士(農学)

専門:環境調節工学、施設園芸学、蔬菜園芸学、  
植物生理学



内線番号:8842

メールアドレス:

s-hikosaka@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

[https://researchmap.jp/S\\_hiko](https://researchmap.jp/S_hiko)

### <主な研究内容>

- ・環境ストレスを利用した機能性野菜や薬用植物の高効率生産
- ・環境ストレスを利用した二次代謝物質の高濃度化
- ・植物のUV応答メカニズムの解明
- ・画像・環境情報による高付加価値植物の省力・省資源生産

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・環境制御・環境ストレス(気温、UV、浸透圧、水分、オゾンなど)
- ・一次・二次代謝物質の効率生産
- ・カーボンニュートラル
- ・植物工場、持続型都市園芸

### <保有している特許>

- ・特許第6609147号「ネット状資材」
- ・特許第5876444号「カンゾウ属植物の薬用成分濃度向上方法」
- ・特許第7130203号「植物栽培システム」
- ・特開2019-193583「水ストレス測定装置」

### <共同研究の例>

- ・野生の薬用植物の生態解明、薬用成分の効率生産
- ・画像・環境情報を利用した高付加価値植物の省力・省資源生産技術の開発
- ・ZEBに付随した緑地機能の評価(LCA、カーボンニュートラル)
- ・閉鎖空間での園芸植物の高効率生産(宇宙園芸)

## 加藤 顕 准教授 博士(Ph.D.)

専門: リモートセンシング, GIS, 景観生態

内線番号: 8892

メールアドレス: [akiran@faculty.chiba-u.jp](mailto:akiran@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ: <http://akira-kato.org/>



### <主な研究内容>

- ・レーザー(地上レーザー、ドローンレーザー)による樹木3次元データ解析
- ・カーボンニュートラルのための3次元データを用いた森林域でバイオマス推定
- ・i-Treeを用いた生態系サービスの定量化(バイオマス以外の評価手法確立)
- ・森林火災のハザードマップ作成
- ・衛星データの現地検証用データ収集
- ・森林内を飛行するドローン開発
- ・深層学習を用いた3次元データ解析

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・森林内を飛行するドローンの開発
- ・レーザー(地上レーザー、ドローンレーザー)による3次元データ解析

### <保有している特許>

- ・特許第6044052号 魚眼画像データ作成プログラム及びLAI算出プログラム
- ・特許第5522367号、5911114号 表面再現方法及び表面再現プログラム
- ・特許第5844438号 三次元測定対象物の形態調査方法
- ・特許第6635649号 データ重ね合わせプログラム及びデータ重ね合わせ方法

### <共同研究の例>

- ・DXを加速させる革新的森林内飛行と3次元解析技術の確立(2023)
- ・衛星3次元データからの森林域での炭素蓄積量把握(2022)
- ・壁面緑化のCO2吸収量・省エネルギー効果に関する研究(2021-2023)

園芸学研究院・先端園芸工学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・栽培・育種学領域

## 深野 祐也 准教授 博士(農学)

専門:生態学、進化学、作物学、雑草学

内線番号:8814

メールアドレス:

fukano@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://yuyafukano.wixsite.com/portfolio>



### <主な研究内容>

- ・都市や農地における急速な生物進化
- ・ドローンなどICTを用いた持続的な農業(緑肥や食用作物)
- ・自然が人間心理に与える影響の理論構築
- ・その他、人間と自然の進化生態学的テーマいろいろ

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・企業の生物多様性対応に有用な情報基盤構築
- ・日本版環境再生型農業の整理
- ・ネイチャーポジティブに向けた自然再生

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・ソーラーシェアリング下での作物生産
- ・多機能性を発揮する緑肥混播の最適化

園芸学研究院・先端園芸工学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・応用生命化学領域

## 園田 雅俊 講師 博士(農学)

専門: 植物生理学、分子生物学、生化学

内線番号: 8865

メールアドレス:

msonoda@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/shigen8865>

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/shigen>



### <主な研究内容>

- ・ウリ科植物の巻きひげ形成の初期段階における分子機構の解明
- ・果肉不褐変バナナ品種における果肉不褐変の原因究明並びに、その原理を応用した果肉不褐変バナナの開発
- ・植物の潜在能力を利用した香気成分の改良

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・植物の香気成分に関する内容
- ・リコンビナントタンパク質を用いたタンパク質の機能解析

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

園芸学研究院・先端園芸工学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・栽培・育種学領域

## 齋藤 隆徳 助教 博士(農学)

専門: 樹木生理、休眠・萌芽制御、分子フェノロジー、遺伝子制御ネットワーク、ビッグデータ・データサイエンス



内線番号: 8804

メールアドレス:

takanori\_saito@chiba-u.jp

ホームページ:

[https://researchmap.jp/t\\_sai](https://researchmap.jp/t_sai)

### <主な研究内容>

- ・次世代シーケンズデータなど、主に核酸を対象としたビッグデータから園芸的に重要な遺伝子を探索・特定
- ・ブドウやリンゴの高品質化、特に植物ホルモンなどの植物成長調節剤を利用した着色向上

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・植物成長調節剤の開発

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

## 濱 侃 助教 博士(理学)

専門: 農業気象学、リモートセンシング、地理学、  
スマート農業、GIS

内線番号: 8902

メールアドレス:

a.hama@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://www.h.chiba-u.jp/lab/gmet/>



### <主な研究内容>

- ・センシング技術は目に見える色や形状に関わる情報を効率的かつ省力的に取得する利用法が一般的であるが、センシング技術を基盤としたアプローチで「みえない」価値ある情報を「見える化」する研究を行っている。
- ・新しい日本酒醸造の形の確立を目指し、日本酒の品質に密接に関わる酒米のタンパク質含有率を収穫前の段階で予測するシステムの開発を目指している。そのために、ドローンとマルチスペクトルカメラで水稻(酒米)の活性度を計測することに加えて気象データも利用し、タンパク質含有率推定のためのモデル式を作成している。
- ・スペクトル情報を使ったストレス状態の新たなモニタリング指標の作成などの有効性を示すことができれば、有効な波長域に特化した新しいセンサーの開発なども期待できるため、作物の育種および農業の現場におけるブレイクスルーとなる。そこで、本研究は屋内・野外圃場を問わず効率的かつ省力的に行えるフェノタイピングを目指した研究を行っている。

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・センシング, ドローン, スマート農業, 災害調査

### <保有している特許>

- ・実用新案登録第3240139号(U3240139)「シングルボード・コンピューターを用いたLiDAR計測装置」

### <共同研究の例>

- ・酒米のタンパク質含有率推定システムの開発(泉橋酒造, 神奈川県産業技術総合研究所)

園芸学研究院・ランドスケープ・経済学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・食料資源経済学領域

## 栗原 伸一 教授 博士(農学)

専門: 農業経済学, 統計学

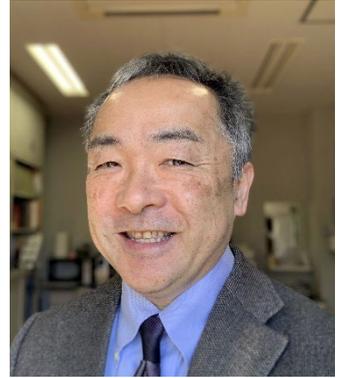
内線番号: 8917

メールアドレス:

kuri@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/kurishin>



### <主な研究内容>

- ・食品安全性に対する消費者評価
- ・農業センサス個票を用いた経営分析
- ・流域治水に向けた水田や浸水米の経済評価

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・農村地域計画策定のための調査票設計
- ・アンケートデータの計量分析

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

園芸学研究院・ランドスケープ・経済学講座

園芸学研究科・ランドスケープ学コース・環境造園デザイン学領域

## 木下 剛 教授 博士(学術)

専門: 造園学、都市緑地デザイン学、グリーンインフラ計画

内線番号: 8877

メールアドレス:

tkinoshita@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/read0045805>



### <主な研究内容>

- ・グリーンインフラ計画の理論と実践
- ・持続可能な生存単位<千年村>の研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・グリーンインフラの計画等に係る政策立案支援、制度設計支援、社会実装支援
- ・市町村の緑地基本計画、都道府県の広域緑地計画の策定支援
- ・<千年村>の視点からの地域支援 <http://mille-vill.org/>

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

秋田 典子 教授 博士(工学)

専門: 緑地環境管理学、レジリエント・ランドスケープ  
復興まちづくり、コミュニティガーデン



内線番号: 8931

メールアドレス:

[noriko@faculty.chiba-u.jp](mailto:noriko@faculty.chiba-u.jp)

ホームページ:

<https://researchmap.jp/norikoakita>

<主な研究内容>

- ・人の活動と自然環境とが調和した空間の実現
- ・環境ガバナンス
- ・レジリエンスによるコミュニティの再生
- ・復興まちづくり

<産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・地域の再生、コミュニティ再生
- ・公園、緑地に関連すること

<保有している特許>

- ・なし

<共同研究の例>

- ・なし

武田 史朗 教授

博士(緑地環境科学)

専門:ランドスケープデザイン、建築設計



内線番号: 8917

メールアドレス:

st@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/takedashiro>

### <主な研究内容>

- ・ランドスケープデザインを中心に、建築や緑地、大学キャンパスと都市空間デザインに関すること。
- ・近年は気候変動を考慮した流域治水とまちづくりの関係を「流域空間デザイン」と呼んで研究・実践しています。
- ・UDCK(柏の葉アーバンデザインセンター)の副センター長としてまちづくりにおける公民学連携を実践・研究しています。
- ・樹木葬など自然環境の保全と人為的な空間利用を重合する空間デザイン

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・ランドスケープデザイン
- ・大学キャンパス
- ・まちづくり
- ・流域治水/グリーンインフラ

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

## 三島 孔明 准教授 博士(学術)

専門: 環境教育、食農教育、人間植物関係学

内線番号: 8898

メールアドレス:

koumei@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/read0052345>



### <主な研究内容>

- ・環境学習や身近な自然体験、環境保全活動の促進のために、それらの活動・行動の現状や、自然・環境に関する認識、意識、経験等の把握を行い、情報普及ツールや教材、プログラム等の開発の検討を行っている環境学習や身近な自然体験、環境保全活動の促進のために、それらの活動・行動の現状や、自然・環境に関する認識、意識、経験等の把握を行い、情報普及ツールや教材、プログラム等の開発の検討を行っている
- ・食農教育、食育の促進のために、子どもや親、大学生、教員等の農体験や農作物に関する経験、意識、体験活動の課題の把握等を行っている
- ・科学コミュニケーションや産官学連携の基礎的情報を得るために、環境学習や食農教育に関する研究に対する技術者や普及活動家の認識やニーズ等の把握を行っている

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・緑地の利用や自然体験、農体験、環境学習等の促進に関する状況や意識等の調査  
自然体験、農体験、環境学習等に関する普及用教材やツール、プログラムの開発

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

園芸学研究院・ランドスケープ・経済学講座

園芸学研究所・ランドスケープ学コース・環境造園管理学領域

## 竹内 智子 准教授 学術博士

専門：環境植栽学、都市緑地政策、公園・庭園の再生、  
公園の官民連携

内線番号：8917

メールアドレス：

:omoko\_takeuchi@chiba-u.jp

ホームページ：

<https://researchmap.jp/read0138078>



### <主な研究内容>

- ・都市型の歴史的庭園の変容プロセスの実態把握
- ・公園緑地の社会的価値の評価手法
- ・公共空間における多年草・宿根草植栽の管理運営手法

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・都市再開発と緑地
- ・公園緑地の社会的価値評価
- ・Park-PFI
- ・歴史的な公園緑地の再生

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

霜田 亮祐 准教授 博士(学術)

専門:環境造園計画学、風景計画学、ランドスケープ論、文化的景観、都市生態学



内線番号:8917

メールアドレス:

: .shimoda@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/rshimoda>

<主な研究内容>

- ・都市生態学:都市は人間のためだけではなく、動植物も含めた生き物の「生息地」とする。このような生態を象徴する空間をどのようにデザインし、創造できるかを探求すること。
- ・風景墓苑プロジェクト:墓地不足という社会課題に対して森林再生や地域再生の計画手法を掛け合わせた新たな吊いの風景の計画について

<産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・粗放的かつ持続的な屋上緑化手法の開発
- ・ネイチャーポジティブを促す雨水利用

<保有している特許>

- ・なし

<共同研究の例>

- ・なし

園芸学研究院・ランドスケープ・経済学講座

園芸学研究科・園芸科学コース・食料資源経済学領域

矢野 佑樹 講師 Ph.D.

専門: 消費者行動, 行動経済, 食品技術, 食品安全

内線番号: 8980

メールアドレス:

y.yano@chiba-u.jp

ホームページ:

[https://researchmap.jp/zy\\_114](https://researchmap.jp/zy_114)



### <主な研究内容>

- ・新しい技術で作出された食品に対する消費者選好や情報提供効果に関する研究
- ・環境情報の可視化ツールに対する経済評価とニーズに関する研究
- ・テキストマイニングを用いた消費者意識や購買動機の解明に関する研究

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・消費者ニーズ分析
- ・食品表示に関する選択行動
- ・食品受容性

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

## 江 暁 欽 助教 農学博士

専門: 風景計画学

内線番号: 8917

メールアドレス:

: ko.syokan@chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/syokanko>

### <主な研究内容>

- ・雨水を活用したまちづくり
- ・環境を配慮した都市計画とその手法、及び一般向けの教育普及

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・持続可能発展
- ・環境教育
- ・市民参加型まちづくり
- ・ウェルビーイング

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし

## 章 俊華 教授 博士(学術)

専門:庭園文化、ランドスケープデザイン、環境文化

内線番号: 8889

メールアドレス:

zhang@faculty.chiba-u.jp

ホームページ:

<https://researchmap.jp/zhangjunhua>

### <主な研究内容>

- ・伝統造園(庭園)文化空間」をテーマに、中国を中心とした東アジアやベトナムにおける研究
- ・中国及び日本でのプロジェクト実務、学生の国内外デザインコンペへの参加

### <産学官連携の観点で協力できる研究テーマ>

- ・中国との共同調査や研究
- ・実務者間の交流、シンポジウムの開催など

### <保有している特許>

- ・なし

### <共同研究の例>

- ・なし